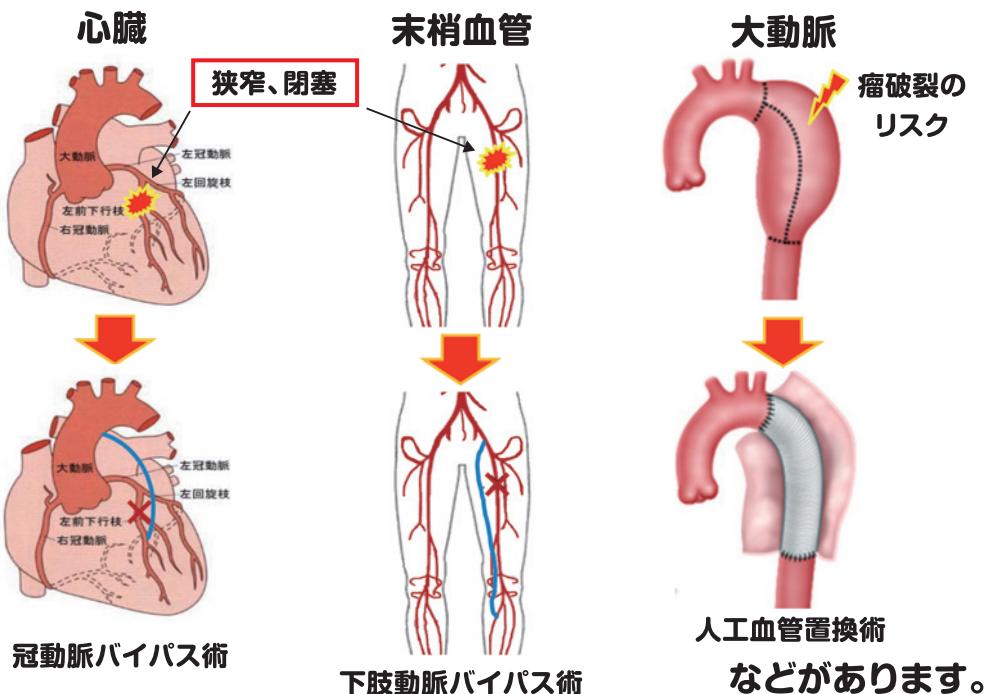


心臓血管外科

【診療の内容】

心臓や全身の血管の病気を外科的に治療する科です。

具体的には‥



心血管疾患は、症状が出てからでは手遅れになる可能性もある怖い病気です
ので、内科の先生ともしっかり連携して治療します。

手術に対して怖いイメージもあるかと思いますが、私たちと一緒に頑張りま
しょう♪

【外来診療担当表】

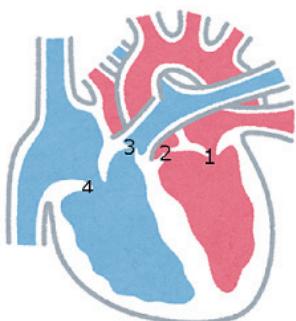
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午 前	手術日	田村部長	丹羽	手術日	
午 後		田村部長	丹羽		田村部長

病気の話①

心臓の病気

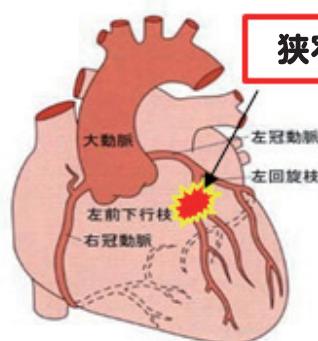
大きく分けると 2 つに分類されます

弁膜症(弁の狭窄・逆流)



- 1 僧帽弁狭窄 / 逆流
- 2 大動脈弁狭窄 / 逆流
- 3 肺動脈弁狭窄 / 逆流
- 4 三尖弁狭窄 / 逆流

虚血性心疾患



冷汗などを伴う胸痛・呼吸困難



下肢の急激なむくみ



軽い動作で出現する息切れ・動悸

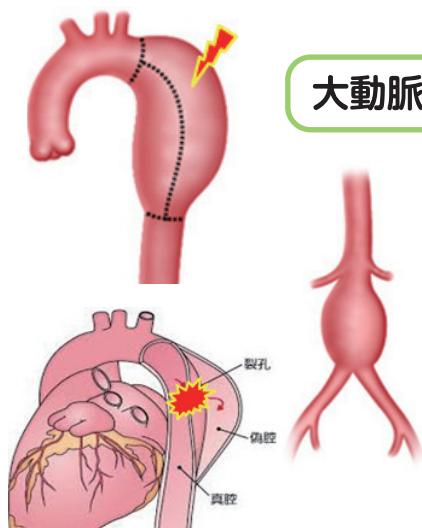


これらの症状を自覚された場合は、心臓病の可能性も考えられますので、お近くの医院もしくは当院までご相談ください。

病気の話②

血管の病気

血管は全身の病気です

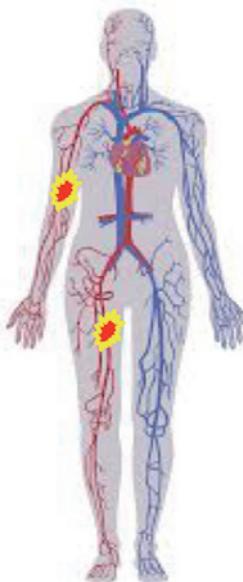


大動脈疾患



大動脈疾患は普段は無症状です。
しかし破裂したり解離（血管が裂ける）
すると強烈な背部痛、腹痛が出現し
命に関わる病気です。

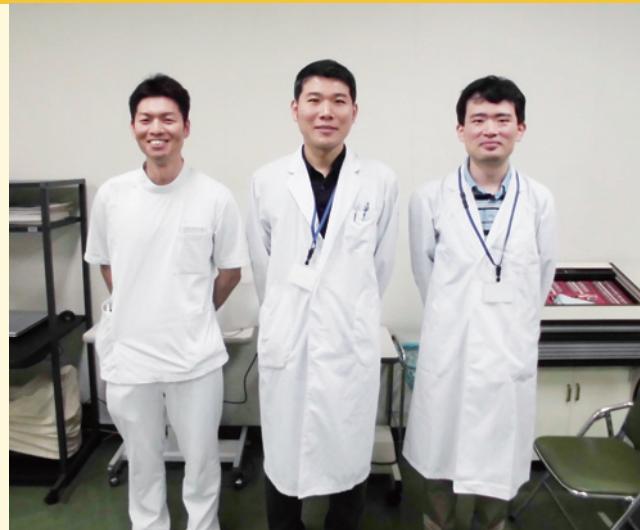
末梢血管疾患



手足の血管が狭窄したり閉塞することで
血流が悪くなり、
手先・足先の痺れ・感覚鈍麻・疼痛・
脱力・色調変化などの症状が出現し、
その症状は持続することが多いです。

これらの症状を自覚された場合は、血管病の可能性を考えられますので、
お近くの医院もしくは当院までご相談ください。

眼科とは



【診療の内容 特色】

白内障、緑内障、網膜硝子体・黄斑疾患を中心に、あらゆる眼症状（視力低下、ゆがみ、かすみ、疲れ目、充血、めやに、かゆみ、いたみ、異物感、涙目、ドライアイ、飛蚊症）について、診察いたします。網膜裂孔や糖尿病網膜症に対するレーザー治療や、後発白内障に対するYAGレーザー治療も行っております。

手術では、現在、約半年待ちの状態でご迷惑をおかけしておりますが、白内障手術を中心に行い、件数の増加を予定しております。また、加齢黄斑変性や糖尿病黄斑症、網膜静脈閉塞症などに対する抗VEGF療法も積極的に行っております。

当科では、2名の常勤医師(2019年2月より常勤1名になります)、1名の非常勤医師が協力し、長年にわたり地域に根付いた病院として、地域の医療機関との連携を深め、地域に密着した医療を提供していきます。

【外来診療担当表】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
一 診	岡本部長 (午前)	岡本部長		岡本部長	岡本部長
二 診	平井 (午前)	伴	担当医 (午前)	竹内	担当医

病気の話

日本人の緑内障

緑内障とは

緑内障は、眼圧が高くなることにより視神経に異常が起り視野（見える範囲）や視力に障害を起こす病気です。

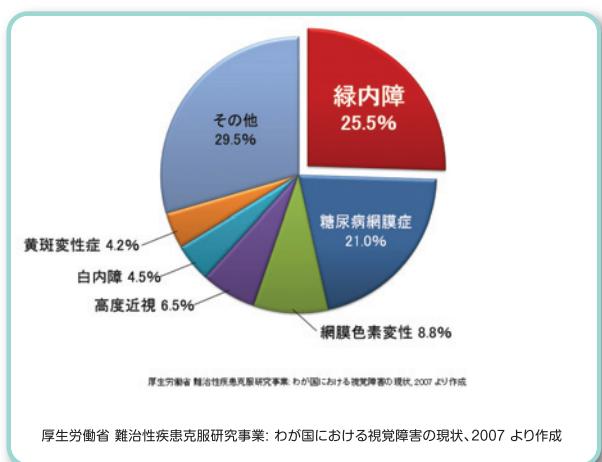


日本人では眼圧が高い緑内障よりも眼圧が正常範囲にありながら視神経が障害されるタイプの原発開放隅角緑内障、いわゆる正常眼圧緑内障が非常に多く、緑内障全体の7割以上を占めています。そしてこの正常眼圧緑内障は視神経の耐えられる眼圧が低いことや、視神経の血流が悪くなっていることなどが原因として考えられています。

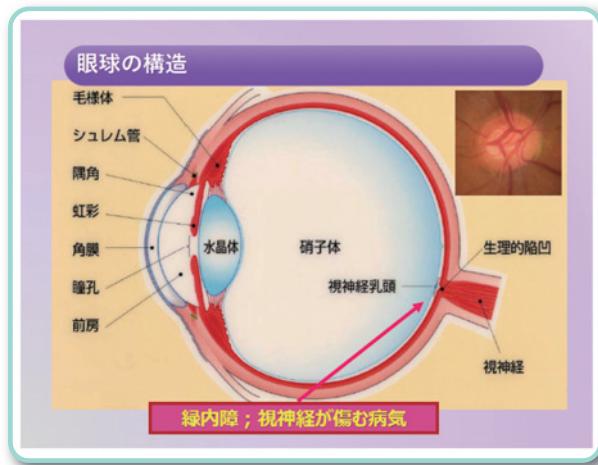
緑内障の治療

一度障害を受けた視神経は元には戻らないため、緑内障を完治させることはできません。

したがって、緑内障の治療は、視神経がダメージを受けてこれ以上視野が狭くならないように、眼圧を下げることが基本となります。



眼圧を下げるにはまず点眼(目薬)の治療からはじめ、効果が不十分な場合には、レーザー治療や手術治療が行なわれることがあります。



すなわち正常眼圧緑内障で何よりも大切なことは早期発見とともに、定期的な眼科通院により点眼治療等をしっかりと続けることです。そうすることにより大半の方は長い年月にわたって視野と視力を維持していくことができるのです。

最後に緑内障は必ず遺伝する病気ではありませんが、家族や親戚に緑内障の人があられる方、また近視の強い方や遠視の方、糖尿病を患っている方、副腎皮質ステロイドを長期間使用している方、過去に眼をけがしたことのある方、40歳以上の方などは緑内障になる危険性が高いため、一度は眼科を受診することをお勧めします。天寿をまとうするまでは目は大切に残しておきたいですから…。

視能訓練士ってなに？

私たち視能訓練士は国家資格を持った眼科領域における医療従事者として、乳幼児からお年寄りまで世代を超えて皆様の大切な目の健康を守るお手伝いをしています。

視能訓練士のしごと

●眼科一般検査

視力検査・眼圧検査・視野検査・眼底画像検査など

遠視や近視、乱視といった屈折異常に対して、眼鏡などの検査をします。また白内障や緑内障など目の病気に関する検査を行っています。

●視能訓練

遠視や乱視などによって視力の発達が遅れた弱視の子供さんや、片目の視線がずれることで両眼視が障害される斜視に対して、視能向上のための訓練を行います。

●ロービジョンケア

先天異常や目の慢性疾患、事故による眼外傷などによって視機能が低下した状態（ロービジョン）の方には、一人一人の見え方にあった補助具の選定や視機能の活用を支援します。

